



「空き家を活かそう! まちの交流拠点をデザインする」

第4回目

「横浜ノイエ」(横浜市)見学



7月8日の
第4回目は、
横浜市にある
空き家活用事
例として「横
浜ノイエ」さ
んを見学させ

ていただきました。

ここは横浜駅から市営地下鉄で一駅。そこから10分歩いただけで、湧水もある、深い緑に囲まれた住宅街です。

細い路地から階段を上ると小高い丘が連なり、周辺が一望できます。

近所にはツリーハウスもあるという素敵なロケーション。

しかし、坂の上には車が入らない路地もあって、高齢の方が住み続けるのは確かに大変な地域かもしれません。

このあたりも空き家がちらほらと見られます。

そんな中に建つ「横浜ノイエ」は、私たち昭和世代には懐かしい間取りの広いお家です。



長い廊下、緑側、襖を外して広く使える和室。そして、広いお庭にはヤギ! 雑草対策としてヤギを飼っているそうです。

オーナーさんのお父様は教師でいらしたそうで、かつての教え子さんたちが何かという集まっては賑わっていたというお家だそうです。

(ちょうど、黒澤明の映画「まあだだよ!」を思い出しました。そんなイメージのお家です!)

広間で、参加者たちが車座になってお話を聞いた後、家中を見学させていただきました。

その後は、グループに分かれて「空き家活用案」を出し合い、意見交換を行いました。

生まれ育った家を空き家にしないために、受け継いで住み始めたオーナーさん。

まだ片付け途中という室内をご好意で見学させていただきました。



2階には窓から光が差し込んでいるお布団が集めて積まれた部屋、本棚のまわり、たく



さんの本が積まれた部屋。様々なものが片付け途中になった部屋。

「途中で力尽きてしまった遺跡の数々です(笑)」と説明してくださいました。

私も夫の実家の片付けを始めて数年、まだまだまだまだ、同じような状態です。

「一般的な昭和の家。それほど広いわけでもないのに、次から次から出てくる出てくるモノたちに押しつぶされそうで、なぜこんなに片づかないのか?」と、いまだに、茫然とすることがあります。

オーナーさん一人で立ち向かって力尽きたというお話を聞きながら、デジャブのように胸に迫る光景でした。

すっぱり処分したり、業者さんに頼んできれいサッパリ無くしてしまつたら。

きつとスッキリするでしょう。頭でわかっているけど、そんなにドライに割り切れる方ばかりではないと思います。

捨て下手で片付けの私には「わかるわかる」と思いつつ、では、どうしたらいいのか?

講座終了後、ノイエを後にし、坂を下りてくると、整備された緑道を歩くと、この辺りに貝塚があったことを示す表示がありました。

「人がそこに住み続ける」ということは簡単なことなのか難しいことなのか。

そんなことを考えながら帰路につきました。

